

より良いいしかわインターンシップのための 対話型セミナー

主催：石川県、いしかわ就職・定住総合サポートセンター（ILAC）

共催：（株）リクルートキャリア 就職みらい研究所

インターンシッププログラム開発普及モデル事業

●本日の発表資料につきまして

本日の発表資料は、明日からジョブカフェ石川のＨＰに掲載いたします（11/26まで）

本日のメモは、必要最低限お取りいただければ幸いです

ご連絡とお願い（対面型＋Web型のハイブリッドで実施）

●参加者のZoomの表示名設定

「名前（企業）」としてください

例／田中 花子（企業）

パソコンの場合

「参加者」アイコンを押す



参加者一覧の中から
自分のアカウントを見つけて
その上で「詳細」→「名前の変更」

スマートフォンの場合

「参加者」アイコンを押す



参加者一覧の中から
自分のアカウントを見つけて
タップ→「名前の変更」

ご連絡とお願い（対面型＋Web型のハイブリッドで実施）

● Zoomのマイクとカメラの設定

・全体でイベント進行する時

音声品質を確保するため、発言時以外はマイクオフで
お願いします

・グループディスカッションをする時

カメラとマイク、どちらもオンでお願いします

ご連絡とお願い（対面型＋Web型のハイブリッドで実施）

- 参加者から感想や同意、反論などがある場合・・・

【対面型】

挙手いただければマイクをお持ちしますので
ご発言ください

※発言のタイミングはこちらからアナウンスします

【Web型】

発言がある方は、いつでもZoomのチャット機能で
お送りください



テスト送信

主催者からの挨拶

いしかわ就職・定住総合サポートセンター センター長：永下 和博

本日のイベント趣旨

趣旨

インターンシッププログラムの改善支援の取組事例を用いながら
インターンシップに関するノウハウや実施のポイント等を県内企業にお伝えし、
県内企業全体のインターンシップの質の向上を図ります。



内容

- ・一般論ではなく、現場レベルで運用可能な
インターンシップ実施の考え方とポイントを事例から学ぶ。
- ・「今後のインターンシップ」について、セミナー参加者が協働で考える。

登壇者紹介

ますもと

全体コーディネーター：増本 全

(株)リクルートキャリア 就職みらい研究所 所長
入社以来、一貫して人材採用に関する業務を担当。
2018年10月より、現職。
新卒市場の調査・研究・発信を行う。



かねうち

県内事例紹介：金内 康人

(株)ヒルストンキャリア 代表取締役
(株)リクルートキャリアで20年間、地方の人材採用に
ついての取り組みに従事。2015年に退職後、
北陸エリアの採用力強化支援に従事。

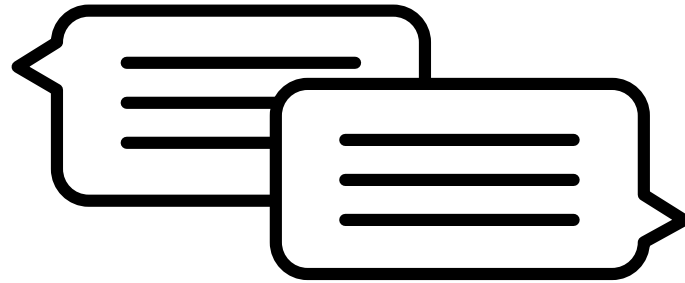


まず、本日参加されるみなさんのご状況を教えてください

今までに、自社でインターンシップを実施したことがありますか？



★ インターンシップを実施したことのある企業の方
課題として感じたことは何ですか？



本日の流れ

1. 県内の状況および石川県の目指す姿
2. 事例発表と事例から学ぶインターンシップのポイント
3. 今後のインターンシップのためのグループディスカッション
4. 参加者による交流会（希望者のみ）

1. 県内の状況および石川県の目指す姿

本日のイベント趣旨【再掲】

趣旨

インターンシッププログラムの改善支援の取組事例を用いながら
インターンシップに関するノウハウや実施のポイント等を県内企業にお伝えし、
県内企業全体のインターンシップの質の向上を図ります。

内容

- ・一般論ではなく、現場レベルで運用可能な
インターンシップ実施の考え方とポイントを事例から学ぶ。
- ・「今後のインターンシップ」について、セミナー参加者が協働で考える。

(参考) インターンシッププログラム開発普及モデル事業 (学生)

県内企業のインターンシップの質の向上を目的に、石川県・ILACからインターンシップを含む人材採用のノウハウを有する専門家(＝(株)ヒルストンキャリア)を企業に派遣し、インターンシッププログラムの設計～インターンシップの実施～インターンシップ後のフォローまで一貫した支援を行う。

インターンシップとその課題

一般的な定義

学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと

「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」H27.12.10一部改正（H9とりまとめ）
文部科学省、厚生労働省、経済産業省



しかし実際は・・・

現在の学生・企業を含めた**一般的な認識や運用と乖離**がある

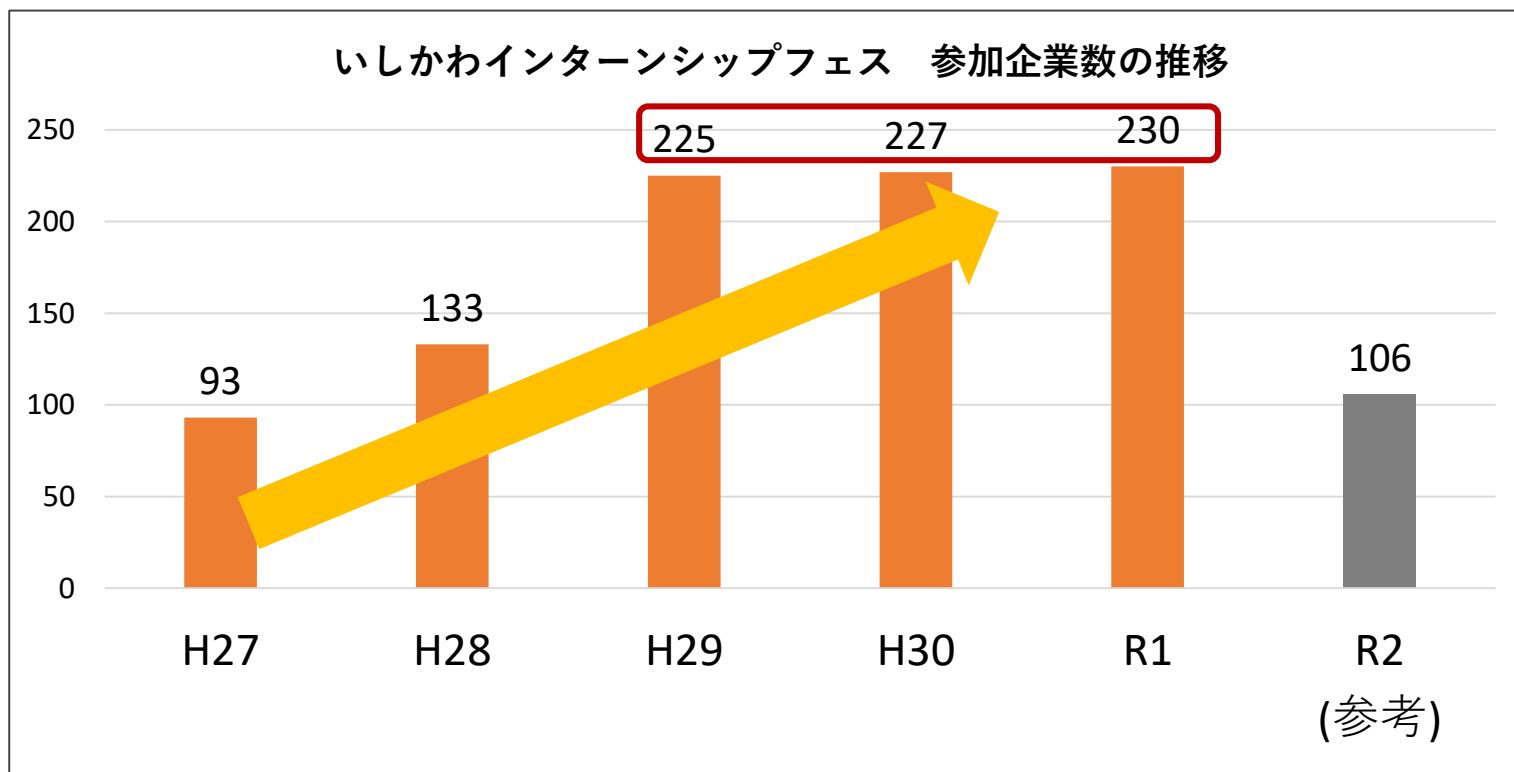
内定を取るため行かなくてはならないもの
母集団形成のための手段 …etc.



このため、政府において「**インターンシップの推進に当たっての基本的考え方**」の
在り方について検討することとしている

R2.7.15 中央教育審議会 大学分科会（第155回）
「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」からの
報告及び今後のインターンシップについて

石川県におけるインターンシップの現状



- ◆ 年々増加傾向であり、ここ3年は高止まりしている
- ◆ 他県のインターンシップ合同説明会の出展数と比較しても、**石川県ではインターンシップが浸透していると考えられる。**

(富山県 (R1) 103社、新潟県 (R1) 約130社)

石川県内の企業の声

採用とのつながり

プログラム開発

社内での連携

学生との接し方

学生集客

事後フォロー

- ・インターンシップの受け入れが**採用につながらない**
- ・インターンシップを受け入れる**体制整備が難しい**（人的、時間的な余裕や他部署との連携等）
- ・**プログラムの設計**が難しい、**実施のノウハウ**が乏しい
- ・**申し込み学生が少ない**
- ・現状実施しているプログラムの内容やコミュニケーションの仕方が本当に学生にとって良いものなのかわからない
- ・実施後も含め、**学生へのフォロー体制**が整備されていない

石川県内の学生の声

リアルな仕事内容

働く人
(社員)

自身への評価

物事の
とらえ方

- ・ **普段の業務内容**がわからなかった
- ・ 日数が少なく、インターンシップ先の**職場の雰囲気**などがあまりわからなかった
- ・ 事務作業などが多く、**社員の方と交流**できなかった
- ・ 企業の方から**フィードバック**をもらえなかった

石川県が目指すインターンシップの姿（ビジョン）

企業

採用活動の円滑化

自社の事業及び実務への
より深い理解の促進

職場のリアルや社風のアピール

学生からの自社に対する
率直な評価

就職後のミスマッチングの
未然防止

企業がインターンシップで
職場や仕事のリアルを
開示することが



双方の納得感のある
より良いマッチングに



学生

就職活動へのステップアップ

業界・職種理解

職業観の醸成

自己理解の促進

就活の際の「軸」の形成

県内企業のインターンシップの質を向上させることで学生の県内定着&UIターン就職を促進

2. 事例発表と事例から学ぶインターンシップのポイント

インターンシッププログラム開発普及モデル事業における支援①

北陸エリアでの企業への採用支援のノウハウを活かし、
石川県内企業を対象に、インターンシッププログラムの設計～
実施後フォロー まで一貫した支援を実施

支援の流れ

2020年

5月

6月

7月

8月

9月

10月

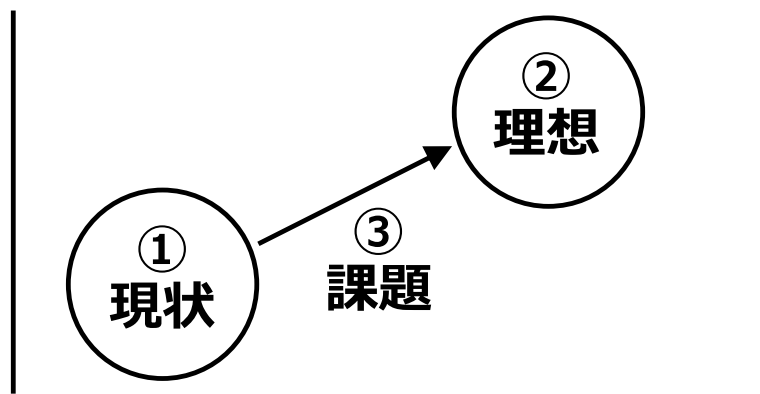
11月



※日程・日数・内容は、企業ごとに異なります

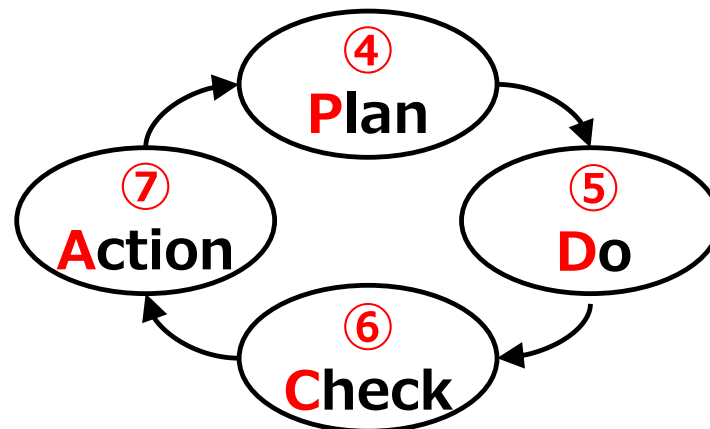
インターンシッププログラム開発普及モデル事業における支援②

在りたい姿と現状のギャップを把握



- ① 現状のヒアリング
 - ・新卒採用活動状況
 - ・**インターンシップの位置づけ**（採用との関係）
 - ・現在のインターンシップの**課題抽出**
集客・時期・場所・協力体制など
- ② 求める状態
 - ・**求める人物像**
インターンシップ参加学生の質
- ③ 課題の整理・設定
 - ・プログラムの質的向上を目指した提案

課題を解決するP D C Aの実践



- ④ 実現可能なプログラム作成
 - ・協力体制（**部署・先輩**）
 - ・時期（期間）
 - ・**伝えたい情報**（事業・企業等）
- ⑤ プログラムの実践
- ⑥ 振り返り
- ⑦ 実施後のフォロー⇒採用活動へ
 - ・**フォローメンバー＝リクルーター**
 - ・選考の短縮
 - ・自社・業界理解の促進
 - ・内定辞退防止 etc.

インターンシップを実施する狙い（対学生）

ゴール

採用につなげていく。
また、入社後のミスマッチを防ぐ

ギャップ

現状

インターンシップの満足度が低い・わからない

- 学生が知りたいリアル（仕事内容や社風や先輩像）は伝わっていない？
- 自社の魅力が伝わっているか疑問
- 採用時の母集団形成につながらない

課題設定

普段の姿を見せる。飾らない
かっこつけない

- 実際の仕事をやってもらう
模擬ワークをする際も、できるだけ実際の業務を渡す
- 人事だけでなく、多くの現場社員と接する機会を作る
- 昼食も一緒にとる
（社員食堂があればそこで）
- 何でも質問できる＆何でも話せる
座談会を実施する

インターンシップを実施する狙い（対社内）

ゴール

インターンシップに
主体的・前向きに協力してもらう

ギャップ

現状

現場の負担を考えると

人事中心・短期間になってしまう

- 作業部門の人員不足⇒人が欲しい
- やりがい、楽しさ、キツさなど現場でないとリアルは伝わらない
- 入社しても期待が薄くなっている

課題設定

現場を巻き込み一緒に
企画・運営する。押し付けない

- インターンシップを企画する早い段階から、経営層・現場社員にも相談する
- プログラムの一部を主体的にお任せする。仕事の醍醐味を伝える工夫をしてもらう
⇒仕事の魅力の言語化・発見、モチベーションUpにつながる
- インターンシップ当日も座談会などで登場してもらう
⇒学生を知る機会

モデル企業とインターンシップの概要

社名	日本海電化鋳造株式会社	株式会社白山	株式会社PFU	株式会社大和
企業概要	社員44名 建設機械のカウンターウエイトの製造	社員110名 光通信用MTコネクタなどの製造	社員4491名 ドキュメントスキャナーなどIT機器の製造	社員380名 高齢者向け調理済み食材、介護食等の製造
インターンシップ日数	2日間	2日間	5日間	5日間
インターンシップ内容	・鋳造技術を使ったマルチスタンド製作を体験 ・社員との交流会	・研究開発テーマの熱電発電についての理解と実用化 ・光通信（接続）の将来像についての考察（オンライン）	・グループワーク ・オンライン工場見学 ・ロボットプログラミング体験（教材） ・オンラインランチ会	・食材調理体験 ・袋詰め出荷体験 ・社員食堂スタッフ体験 ・メニュー開発
参加学生	1名 ・理系の県内学生	4名 ・理系・文系の県外学生	122名 ・理系・文系の県内外学生	4名 ・理系・文系の県内学生

県内企業 4 社×(株)ヒルストンキャリア
【今年度支援を受けて、インターンシップを実施して——】

ご登壇者様：日本海電化鋳造(株)様、(株)白山様、(株)PFU様、(株)大和様

①現場を巻き込むためにどんな苦勞がありましたか？
工夫したこと、仕掛けたことは？

②会社の中身、実務を体験させるためにどう工夫しましたか？

③先輩社員との交流時間はなぜ大事だと思いますか？

④ オンラインインターンシップについて

インターンシップに参加した理由・きっかけを教えてください

- ・石川県の『**ジョブNAVI石川**』で見つけた。その他の就職ナビで見つけた石川県の『**ジモトのシゴト研究会**』で配布された**チラシ**で知った
- ・案内文から、アットホームな雰囲気伝わってきたので。学生同士が競争するようなギスギスしたインターンシップには参加したくない。大企業は後者のイメージなので、中小企業にした
- ・**石川県の企業**なので。**地元で就職したい**
- ・大学の授業や実習ではできない内容だったので
バイトで体験したことのない内容だったので
- ・グループディスカッションを体験してみたかった。就職活動で必要だと聞いたので
- ・社長と話せるプログラムだったので

インターンシップ参加中に、その企業への志望度が上がったことや嬉しかったことを教えてください

- ・終了後に自由参加の座談会有り、そこでアットホームな雰囲気、社員の本音を聞くことができた。また、学生同士の交流もできた
- ・社員の方が何でも知っていて、魅力的だった。楽しんで仕事をしていることや、毎日充実していることが伝わってきた
- ・インターンシップに直接関係のない社員さんも、みなさん挨拶してくれた
- ・わからないことがあって社内でうろうろしていたら、インターンシップに直接関係のない社員さんが声をかけて助けてくれた
- ・いろいろな部署、いろいろな職種の社員さんと話せた
- ・参加前の仕事のイメージが変わった。ずっと機械を操作する仕事だと思っていた（それはあまり好きではない）が、実際はそうではなかった

(続き)

- ・初めてのインターンシップで緊張していたが、温かく接してくれた
- ・社員さんが付きっきりで、食事の時も一緒だったので、普段の仕事のことや就活のこと、趣味のことなど、何でも本音で聞くことができた
- ・大学の講義で学んだこと（座学でしか知らなかったこと）を実際に見ることができた
- ・社員さんとの年齢が近く、話しやすかった。趣味や給与のことなど、何でも話してくれた

インターンシップ参加中に、その企業への志望度が下がった ことや気になったことを教えてください

- ・会社説明など、**一方的に聞いているだけのパートが長い**と集中力が切れる
- ・会社説明で、HPに書いてあることと同じ内容の説明しかしていないと、新しい情報がないなと思う
- ・自己紹介などのアイスブレイクなしでいきなり学生同士で議論をすることになった。相手の名前も知らないまま話し合うのは違和感があった
- ・座談会で学生の人数が多すぎて、**あまり質問できなかった。少人数のグループに分けてほしかった**
- ・職場が汚れていた。もう少し掃除して片付けてもいいのでは、と思った
- ・制作の一部しかできなかった。本当は全部やってみたかった

インターンシップの日数については、 あなたの意見を教えてください

- ・ 5日間あればそれだけその企業のことを理解できるが、5日間のプログラムに複数参加することは難しい。**1日で企業の概要を理解できるプログラムもありがたい**
- ・ 5日間あったことで、実際に1週間働いたらこれくらい疲れるんだな…ということも実感できてよかった
- ・ **5日間あったから、社員さんの人柄までわかった**
- ・ 1日のプログラムだと理解しきれないこともあるので、5日間のプログラムにも参加してみたいと思った
- ・ 2日間でちょうどよかった。1日は短いし、5日間は長い気がする

インターンシップを「オンライン」で実施することについて、 あなたの意見や感想を教えてください

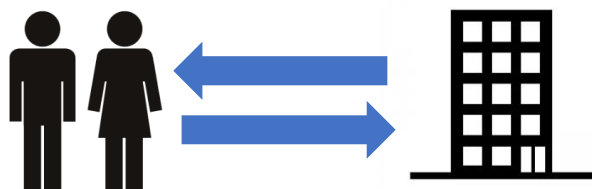
- ・オンラインだから参加できた。片道2時間くらいかかる
- ・リアルだと、休憩時間や帰り道で、他の学生と交流できるのがよい
- ・リアルだと、インターンシップに直接関係のない社員さんの様子も見る
ことができるので、より会社の雰囲気がわかる
- ・画面越しだと、普段の雰囲気まではわかりづらい
やはりリアルで目を見て話す方が、コミュニケーションは取りやすい
- ・オンラインでも工場内の360度画像を見せてくれたので、実感を持ちやす
かった。音ありの動画も見てみたいと思った
- ・一部の学生のネットワーク遅延で、20分くらい待機時間があつた
- ・一部の学生がカメラオフにしていた、議論しにくかった
- ・オンラインでも質問時間を取ってくれたので、いろいろ聞くことができた

石川県で就職することについて、 あなたの意見や希望を教えてください

- ・若いうちはいろんなところに行ってもいいかなと思っている。ただし、いずれは石川県で働きたい（石川県の学生）
- ・石川県内で就職したい（石川県の学生）
- ・首都圏や大阪圏は避けたい。大都市はちょっとこわい。石川県を含め、地方での就職を考えている（県外の学生）

より良いインターンシップを実施するためのポイント

十分な相互理解



学生

企業

情報の非対称性が課題

会社の中は見えづらい
(仕事・人・風土が感じ取れない)

・
・

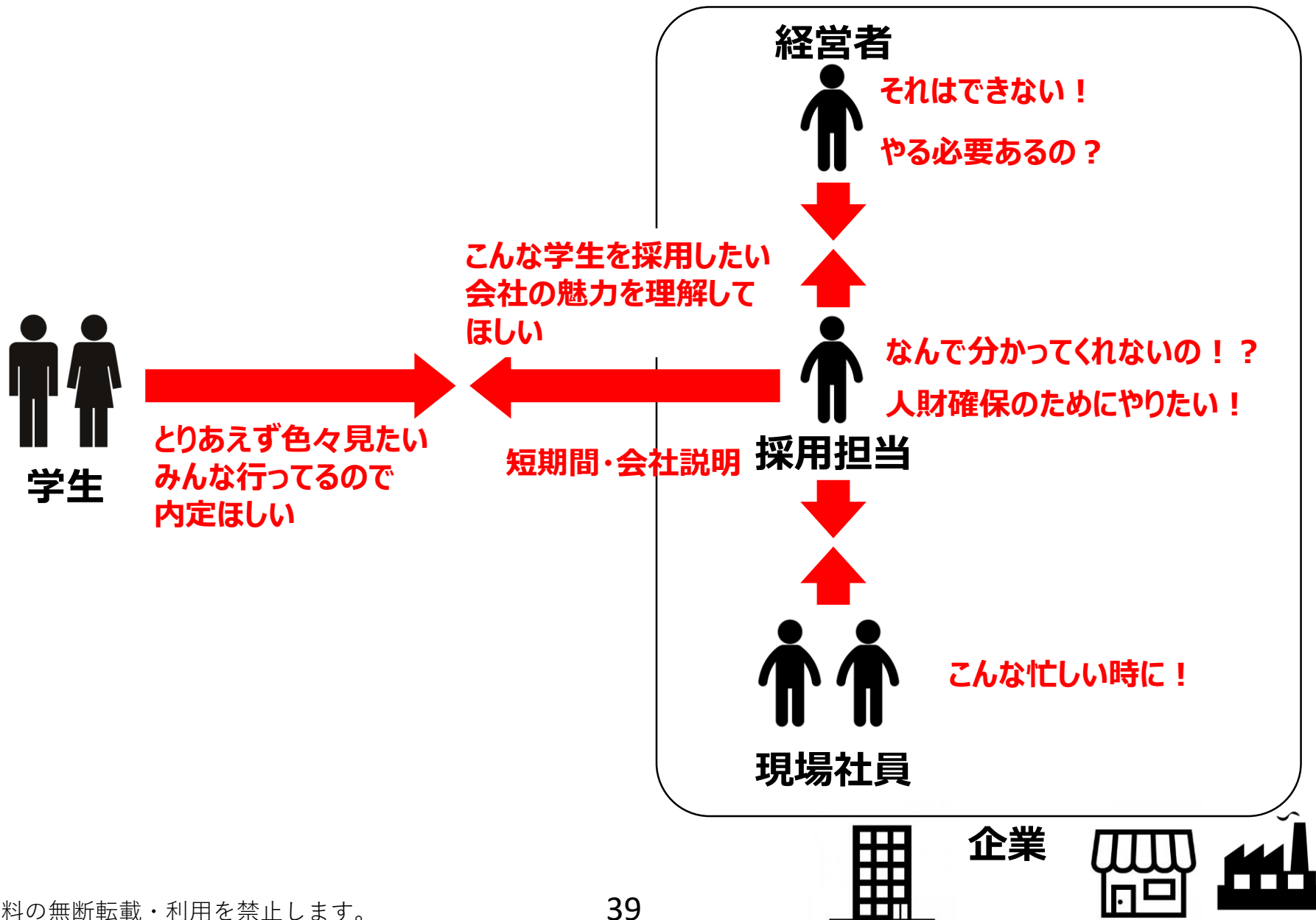
判断に必要な情報が不足すれば
納得感やイメージギャップに影響

① 魅力の伝達は
ありのままの姿を

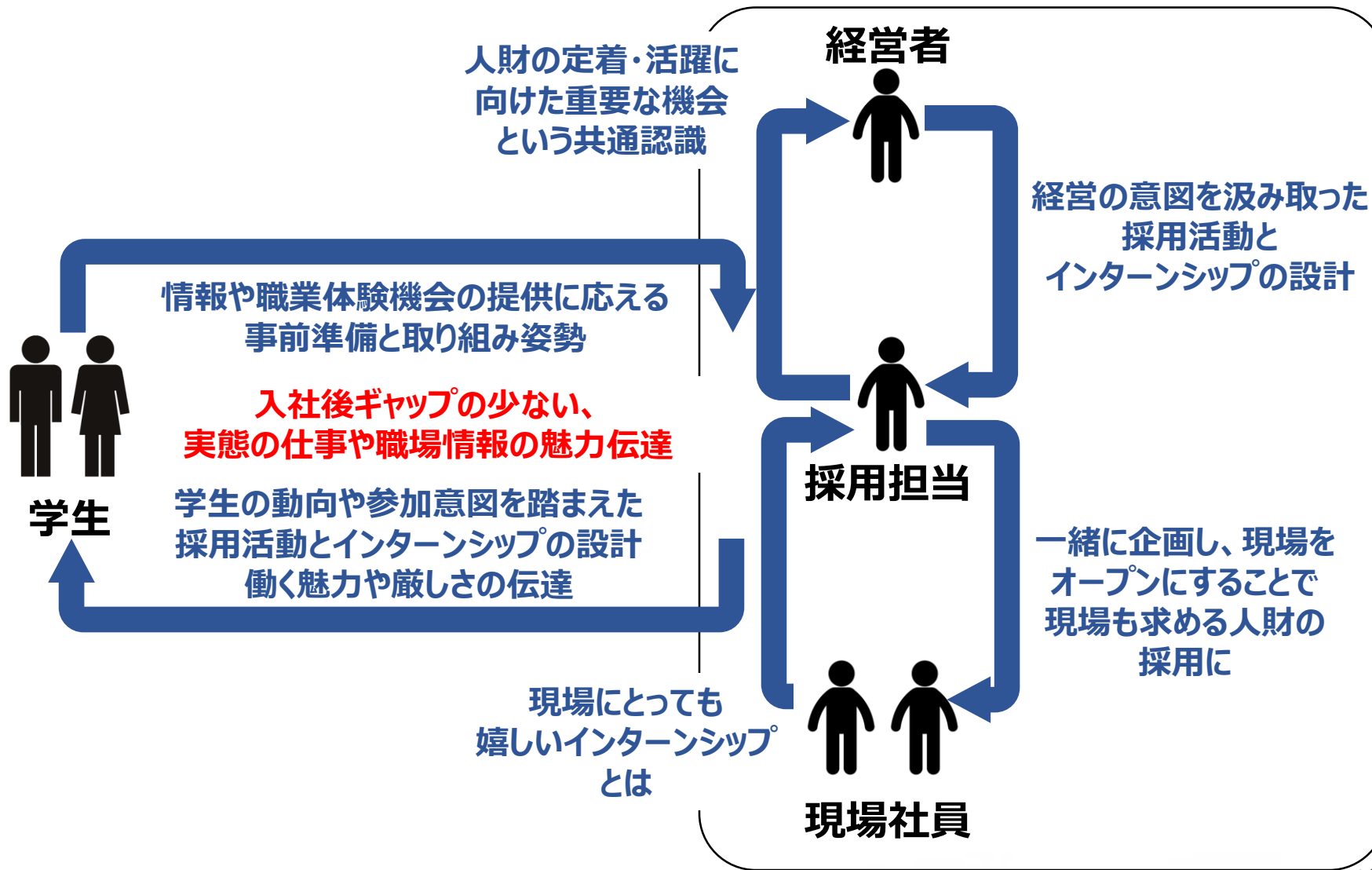
② そのために、
経営・現場の協力が必要

③ 魅力を広く伝達する
オンラインの活用

「良いインターンシップ」の弊害となっているのは…？



みんなで目指したいインターンシップの姿



より良いインターンシップを実施するための具体例

経営や現場と協働し、仕事・社員・働き方を開放する

- ① 普段の仕事体験や社員の本音など会社の中にある実態を見せる
(学生は、「実際のところどうなの??」をかなり気にしている)

プログラムはできるだけ実際の仕事内容に近いものに。

社員（できれば若手社員）との座談会を実施する。場合によっては人事は席を外し、本音で話し合える場を作る。昼食も一緒にとってもらう。

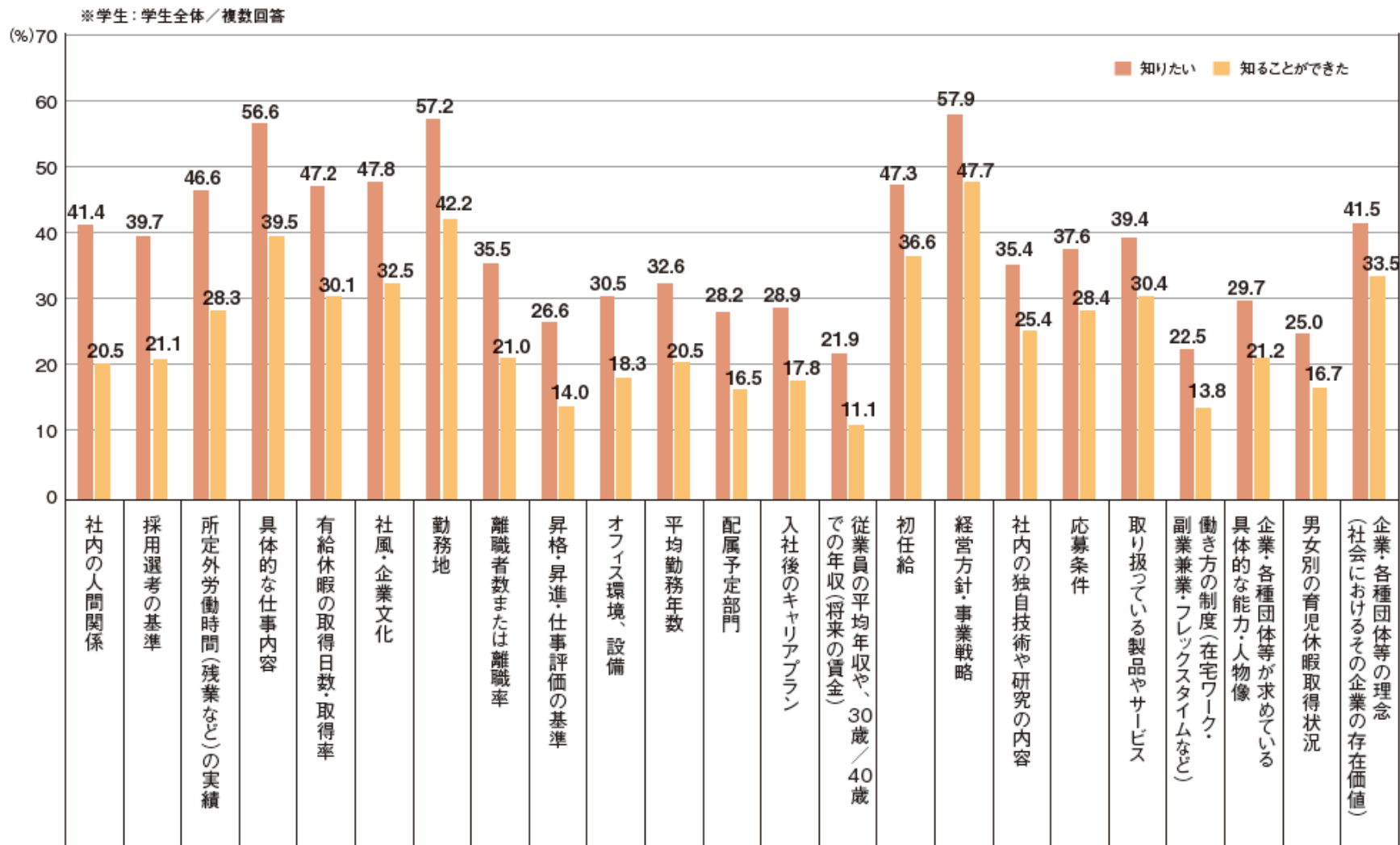
- ② 学生との対話・フィードバック・フォローを充実させる
(学生は、雰囲気、社風、人柄…をよく見ている)

インターンシップを実施すること、社内で学生を見かけたら挨拶すること、困っている様子であれば声をかけて助けること…などを、事前に全社員に周知しておく。

- ③ オンラインは時間・費用を削減し、広く自社の魅力を届けられる
(地方就職狙いの学生もいる)

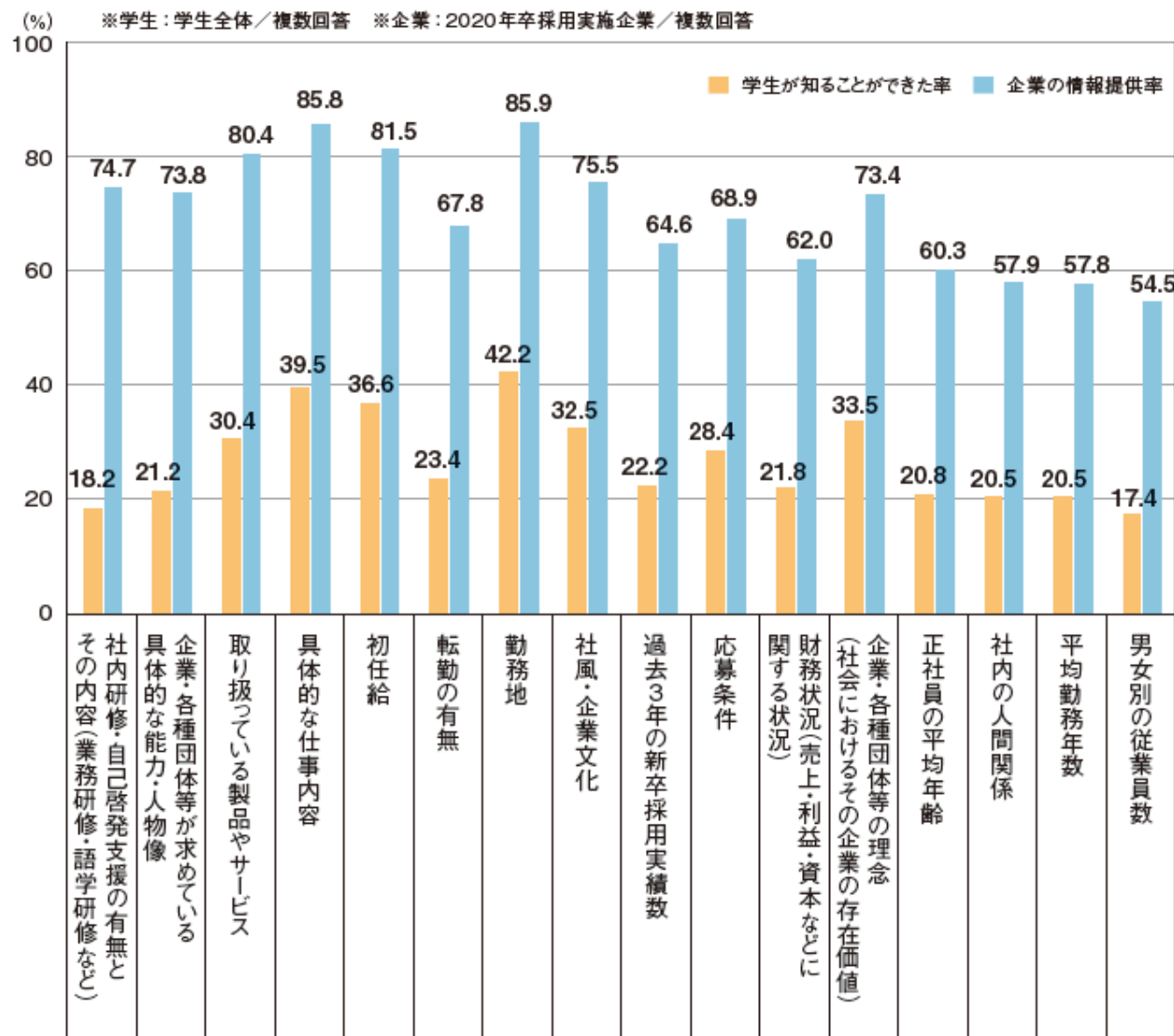
実際の仕事内容に近いことを体験してもらい、社員との座談会を実施し、さらに学生同士の交流もできるようにする。オンラインでも①と②を大切に。

学生が知りたいと思った情報と知ることができた情報



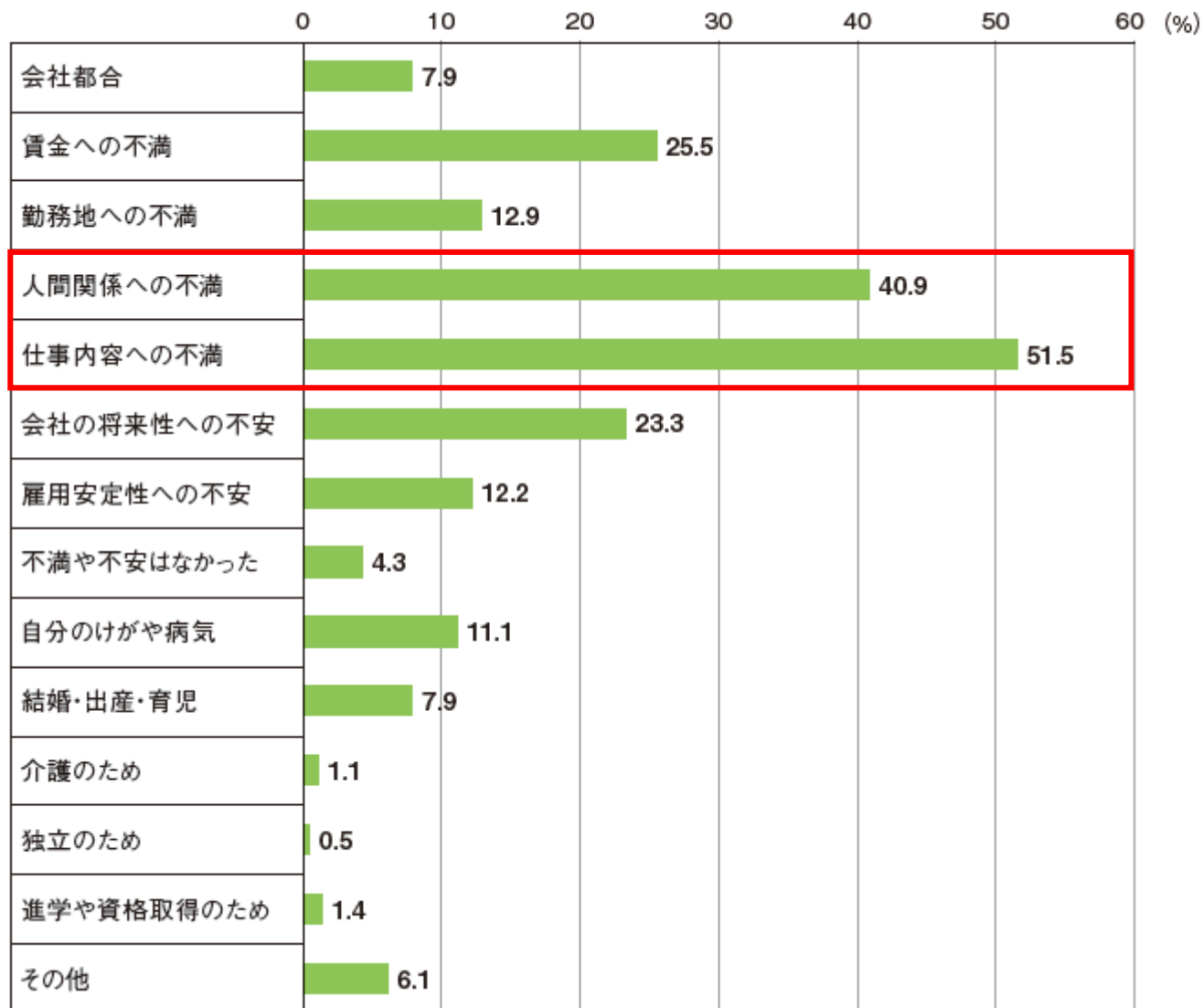
※リクルートキャリア 就職みらい研究所『就職白書2020』より

企業が提供した情報と学生が知ることができた情報



※リクルートキャリア
就職みらい研究所
『就職白書2020』より

早期離職者の初職離職理由



※全国求人情報協会「若者にとって望ましい初期キャリアとは～調査結果からみる“3年3割”の実情～」より

1、職場（仕事・社員・働き方）の開放

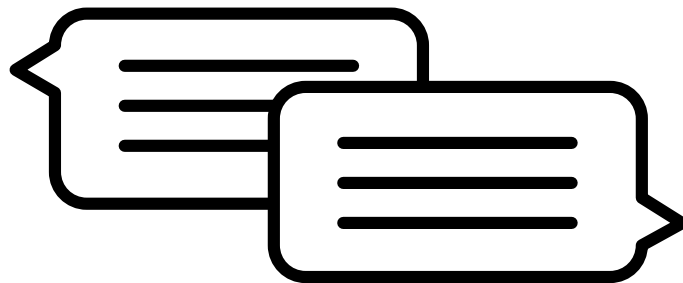
2、「やっているつもり」と「できている」のギャップ

3、現場や経営との協働

ここまでの成果発表および解説をお聞きになって、
率直にどう思われましたか？

意見、感想、質問、反論…など

ご自由に発言ください



3. 今後のインターンシップのためのグループディスカッション

進め方

ここまでの内容を踏まえて、「インターンシップを今後どうするか」を考えていきましょう

15分

シート記入
(個人)

「自社のインターンシップを今後どうするか」について、記入してください

50分

ディスカッション
(グループ)

シートの内容について1人ずつ発表し、その内容について他の参加者とディスカッションする
(4～5名ずつのグループ)
★より良いインターンシップを全員で考える

20分

意見交換
(全体)

グループで出た意見を全体で共有し、さらに意見交換をしながら、より良いインターンシップについて考える

進め方

○ : ○○になったら、グループで話し合いを始めてください。

【Web型】

自動的にブレイクアウトルーム（グループごとの部屋）に移行します
カメラとマイクをオンにして、話し合いを始めてください

- ★五十音順(お名前)で最初の方が司会とタイムキーパーをお願いします
1人あたり10分間の発表＋意見交換
- ★【Web型】個人記入シートは**画面共有なし**で、口頭で発表してください
【対面型】シートをグループ内で共有いただいてもかまいません。
- ★自分の持ち時間（10分間）の中で、まずは簡単に自己紹介をして、
それからシートの内容について発表してください

○ : ○○になったら、自動的にブレイクアウトルームから全体の場に戻ります

個人ごとにシート記入

【Web型】

シート（PowerPointファイルとPDFファイル）をチャットで送信します
使いやすい方をご使用ください

【対面型】

紙でお配りしております

企業用	名前： 社名： 部署：	社会人歴：○年目 インターンシップ実施の有無：
自社のインターンシップ 狙う学生、時期、日数、オンラインorリアル、プログラム内容、接し方…など、何でも構いません。		
Before（現在、これまで）		After（今後） 特に重視したいポイントに★マークを付ける
メモ（他の参加者からの意見やアドバイス）		
1		

※投影（画面共有）はしません。
手元用メモとしてのシートです。

進め方

【Web型】ブレイクアウトルーム（グループごとの部屋）に移行したら
カメラとマイクをオンにして、話し合いを始めてください

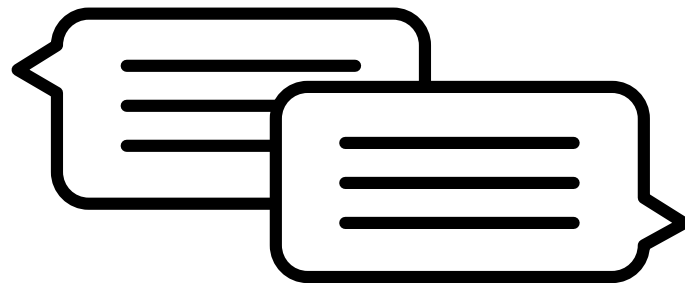
【対面型】合図しますので、合図がありましたら、話し合いを始めてください

テーマ：「より良いインターンシップを考える」

- ★五十音順(お名前)で最初の方が司会とタイムキーパーをお願いします
1人あたり10分間の発表＋意見交換
- ★【Web型】個人記入シートは**画面共有なし**で、口頭で発表してください
【対面型】シートをグループ内で共有いただいてもかまいません。
- ★自分の持ち時間（10分間）の中で、まずは簡単に自己紹介をして、
それからシートの内容について発表してください

○：○○になったら、自動的にブレイクアウトルームから全体の場に戻ります

全体での意見交換



本日のまとめ

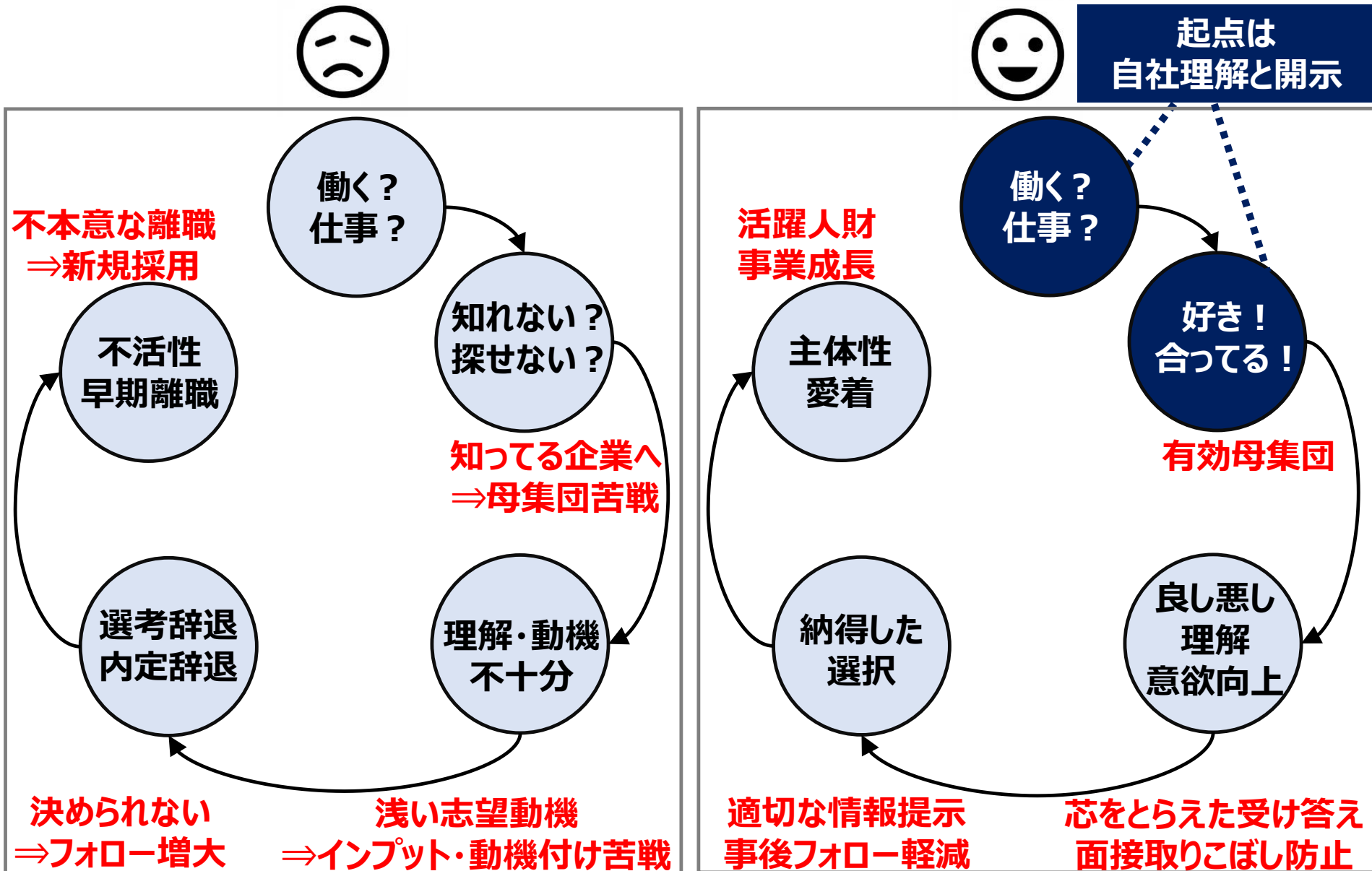
ポイント整理（ここまでの話をまとめると…）

1、職場（仕事・社員・働き方）の開放

2、「やっているつもり」と「できている」のギャップ

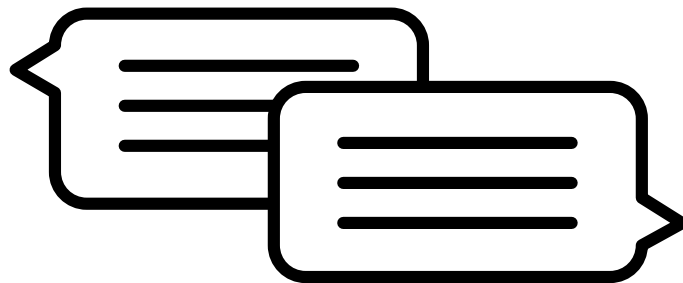
3、現場や経営との協働

インターンシップは定着・活躍にも繋がる有効な機会



「今後のインターンシップのためのディスカッション」や
「本日のセミナー全体」について、感想やご質問を
ご自由に発言ください。

インターンシップのこと、採用活動のこと…
何でも構いません



石川県からのご案内

ジョブNAVI石川 会員企業 随時募集中
石川県若者就職情報総合ポータルサイト

ポイント① サイトでの企業情報の発信

ポイント② 自社説明会・インターンシップ情報等の発信・エントリー受付

ポイント③ 就職フェア、インターンシップフェス等への出展

※登録費用として、3万円（年間）が必要です。

石川県・ILACでは、新卒採用向けのイベント（インターンシップ関連含む）を随時、開催しております。お問い合わせは↓へ！

ジョブカフェ石川 企画・連携推進グループ
TEL : 076-235-4535
MAIL : kikaku@jobcafe-ishikawa.jp

このあとの流れ

全員

まずはアンケートのご記入をお願いします（～○：○○）

（対面型）下記QRコードからご回答ください。

読み込めない方は後日ご回答ください。（締切：11/24 17:00まで）

（Web型）アンケートの回答URLをチャットで送信します。



（休憩）



希望者のみ

参加者交流会を行います（○：○○～ 予定）

交流会は自由参加ですので、参加されない方はアンケートをご記入されましたら、Zoomから退出いただいて構いません

交流会に参加する方はログインしたままでお待ちください

4. 参加者による交流会（希望者のみ）

進め方

※自由歓談です

※軽く飲み物を飲みながらなど、気軽に交流いただいて構いません

20分

交流会 1

◀【対面型】机ごとのグループで交流ください
【Web型】シャッフルでグループを決めます。
(1グループ4人)

◀ここで退出していただくこともできます。

20分

交流会 2

【対面型】
指示しますので、別の机へ移動をお願いします。
【Web型】
再度参加をご希望される方で
新しいグループを作ります